

平成21年度 定時総会を開催

5月18日、平成21年度定時総会を明治記念館（港区元赤坂）で開催しましたので、その概要を報告します。

第1号議案

平成20年度事業報告並びに同収支決算に関する件

平成20年度事業報告

【はじめに】

会員各位のご支援・ご協力により、平成20年度事業を遂行できましたことを心から感謝申し上げます。

本年度は、重点事業のひとつとして、安全・安心な街づくりを支える土木技術への理解促進のため、「建設技術展示会」並びに「シンポジウム 緑の東京」を（社）東京建設業協会と共催で開催いたしました。

また、今後の事業活動の参考とするため、会員の意識調査結果を報告書として取りまとめました。

さらに、1級土木施工管理技術検定学科試験の直前受験準備講習会をはじめ、若手技術者を対象とするテーマの講習会を8回開催したほか、会員会社が施工する注目度の高い土木工事現場を2か所視察し、土木技術者の技術力向上の支援に努めました。

このほか、異業種他分野等各種施設の視察として、（財）鉄道総合技術研究所の見学をはじめ、機関誌『DOBOKU 技士会 東京』、新入社員・若手社員向けの冊子『YŌKOSO（ようこそ）』を発行するとともに、昨年度に続き、2桁の新規入会があったことから、「会員名簿」を作成いたしました。

【事業概要】

＜1＞ 技術力の維持・向上に関する事業

- ① 各種講習会の実施

(1) 直前受験準備講習会

（1級土木施工管理技術検定学科試験）

- 夜間6日間コース
- 昼間3日間コース

(2) 現場代理人を目指す技術者の基礎的な技能習得のための講習会

- コンクリート施工技術講習会
- 現場管理スキルアップ講習会
- 仮設構造物の設計講習会
- 若年技術者育成のための指導者講習会

(3) 土木施工管理技士として総合的な技能習得のための講習会

- 安全管理講習会
- 環境管理講習会
- 建設業のCSRと現場のリスク管理・コンプライアンス講習会

② 土木工事現場視察の実施

- 東京国際空港D滑走路建設工事
- 圏央道 裏高尾橋工事

＜2＞ 信頼回復と社会的地位の向上に関する事業

① 安全・安心を実現する土木技術のPR

- 「建設技術展示会」の共催

② 異業種他分野等各種施設の視察

- （財）鉄道総合技術研究所

＜3＞ 広報事業

- 機関誌『DOBOKU 技士会 東京』の発行
- 「会員名簿」の発行
- 土木施工管理に関する情報収集及び提供

＜4＞ 調査研究

- 「会員の意識調査」の研究
- 事業運営に必要な各種調査の実施

＜5＞ 表彰

- 優良技術者表彰の実施

- 各種表彰候補者の推薦
- 〈6〉 連絡協議
- 関東ブロック技士会連合会会議
 - 国土交通省関東地方整備局と関東ブロック各技士会の意見交換会

平成20年度収支決算報告

[平成20年度収支計算書]

収入の部 (単位：円)

| 勘定科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 |
|-----------|------------|------------|-------------|
| 大 科 目 | | | |
| 会 費 収 入 | 30,640,000 | 31,941,700 | △ 1,301,700 |
| 入 会 金 収 入 | 100,000 | 346,000 | △ 246,000 |
| 事 業 収 入 | 3,500,000 | 2,765,000 | 735,000 |
| 雑 収 入 | 20,000 | 114,304 | △ 94,304 |
| 当期収入合計(A) | 34,260,000 | 35,167,004 | △ 907,004 |
| 前期繰越収支差額 | 15,330,000 | 15,424,313 | △ 94,313 |
| 収入合計(B) | 49,590,000 | 50,591,317 | △ 1,001,317 |

(△印は収入増)

支出の部 (単位：円)

| 勘定科目 | 予算額 | 決算額 | 差異 |
|-----------------|-------------|------------|-------------|
| 大 科 目 | | | |
| 事 業 費 | 26,460,000 | 26,375,901 | 84,099 |
| 管 理 費 | 7,300,000 | 7,228,666 | 71,334 |
| 引当預金支出 | 500,000 | 500,000 | 0 |
| 予 備 費 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 |
| 当期支出合計(C) | 35,260,000 | 34,104,567 | 1,155,433 |
| 当期収支差額(A)-(C) | △ 1,000,000 | 1,062,437 | △ 2,062,437 |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 14,330,000 | 16,486,750 | △ 2,156,750 |



環境管理講習会



東京国際空港 D 滑走路視察

第2号議案

平成21年度事業計画案並びに同収支予算案に関する件

平成21年度事業計画

【基本方針】

2016年オリンピックの開催都市が本年10月に決定されます。

東京オリンピック招致への熱いエネルギーにより、世界的な経済危機を克服し、21世紀にふさわしい環境などに配慮した都市への機能更新が期待されています。

安全で快適な街づくりを支える建設業の本物の技術力を、身近に感じていただくとともに、オリンピック招致活動の一環として、(社)東京建設業協会と協力し、「建設技術展示会」や「講演会」などを実施します。

一方、少子高齢社会が本格化するなか、産業間で若年技術者の獲得競争が静かに進んでいます。

先般の「会員の意識調査」において、若年技術者の確保や技術の継承が喫緊の課題として明白になりました。

これまで実施してきた技術力向上を支援する講習会や現場視察に加え、関係団体と連携し、新入

社員研修会や半年・5年次フォロー研修会など、若年技術者を対象とする研修会を重点的に開催してまいります。

【事業計画】

〈1〉 技術力の維持・向上に関する事業

- ① 各種研修会・講習会の実施
 - (1) 若年技術者等を対象とする研修会
(関係団体と連携して開催する研修会)
 - (2) 直前受験準備講習会
(1級土木施工管理技術検定試験)
 - 昼間 3日間コース
 - 夜間 6日間コース
 - (3) 現場代理人を目指す技術者の基礎的な技能習得のための講習会
 - (4) 土木施工管理技士として総合的な技能習得のための講習会
 - (5) 経営者向け研修会
(関係団体と連携して開催する研修会)
- ② 土木工事現場視察の実施

〈2〉 信頼回復と社会的地位の向上に関する事業

- ① 安全で快適な「東京」を支える土木技術のPR
 - 「建設技術展示会」の共催
- ② オリンピック招致への支援
 - 「安藤忠雄講演会」(東京オリンピック招致委員会理事)の共催
- ③ 異業種他分野等各種施設の視察

〈3〉 広報事業

- ① 機関誌『DOBOKU 技士会 東京』の発行
- ② 土木施工管理に関する情報収集及び提供

〈4〉 調査研究

- 事業運営に必要な各種調査の実施

〈5〉 表彰

- ① 優良技術者表彰の実施
- ② 各種表彰候補者の推薦

〈6〉 連絡協議

- ① 関係行政機関・関係団体との連絡協議

〈7〉 会議

- ① 総会
 - (1) 定時総会
 - (2) 臨時総会
- ② 理事会
- ③ 監事会

〈8〉 委員会

- ① 総務委員会
- ② 事業運営委員会
 - (1) 講習会グループ会議
 - (2) 現場視察グループ会議
 - (3) 情報・広報グループ会議

平成21年度収支予算

[平成21年度収支予算書]

収入の部

(単位：円)

| 勘定科目 | 21年度予算額 | 20年度予算額 | 増 | 減 |
|-------------|------------|------------|-----------|---|
| 大 科 目 | | | | |
| 会 費 収 入 | 31,940,000 | 30,640,000 | 1,300,000 | |
| 入 会 金 収 入 | 300,000 | 100,000 | 200,000 | |
| 事 業 収 入 | 3,000,000 | 3,500,000 | △ 500,000 | |
| 雑 収 入 | 100,000 | 20,000 | 80,000 | |
| 当期収入合計(A) | 35,340,000 | 34,260,000 | 1,080,000 | |
| 前期繰越収支差額 | 16,500,000 | 15,330,000 | 1,170,000 | |
| 収 入 合 計 (B) | 51,840,000 | 49,590,000 | 2,250,000 | |

支出の部

(単位：円)

| 勘定科目 | 21年度予算額 | 20年度予算額 | 増 | 減 |
|-----------------|-------------|-------------|-------------|---|
| 大 科 目 | | | | |
| 事 業 費 | 27,040,000 | 26,460,000 | 580,000 | |
| 管 理 費 | 7,300,000 | 7,300,000 | 0 | |
| 引当預金支出 | 1,000,000 | 500,000 | 500,000 | |
| 積立預金支出 | 2,000,000 | 0 | 2,000,000 | |
| 予 備 費 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | |
| 当期支出合計(C) | 38,340,000 | 35,260,000 | 3,080,000 | |
| 当期収支差額(A)-(C) | △ 3,000,000 | △ 1,000,000 | △ 2,000,000 | |
| 次期繰越収支差額(B)-(C) | 13,500,000 | 14,330,000 | △ 830,000 | |

第3号議案

会長並びに副会長の選任に関する件

岡村康秀会長並びに柿谷達雄副会長（兼事業運営委員会委員長）の退任に伴い、後任の正副会長の選任について審議の結果、会長として、水島久尾氏（大豊建設株式会社）が、また、副会長（兼事業運営委員会委員長）として、坂本眞氏（写真右。清水建設株式会社）がそれぞれ選任されました。

なお、役員名簿は次のとおりです。



坂本 眞 副会長

[役員名簿]

(敬称略)

| 技士会役職 | 氏 名 | 会社名 | 技士会役職 | 氏 名 | 会社名 |
|-------|---------|--------------|---------|---------|---------------|
| 会 長 | 水 島 久 尾 | 大豊建設株式会社 | 理 事 | 石 原 俊 英 | 株式会社ナカノフードー建設 |
| 副 会 長 | 香 西 慧 | 戸田建設株式会社 | // | 武 田 利 興 | 西松建設株式会社 |
| // | 坂 本 眞 | 清水建設株式会社 | // | 久 松 博 三 | 日本道路株式会社 |
| 理 事 | 中 川 博 | 安藤建設株式会社 | // | 肥 後 満 朗 | 株式会社間組 |
| // | 高 橋 健 次 | オリエンタル白石株式会社 | // | 林 清 一 | 林建設株式会社 |
| // | 茅 野 正 恭 | 鹿島建設株式会社 | // | 早 坂 健 司 | 株式会社フジタ |
| // | 石 垣 和 男 | 株式会社熊谷組 | // | 川 村 康 宏 | 前田建設工業株式会社 |
| // | 原 田 泰 明 | 五洋建設株式会社 | // | 山 田 晴 雄 | 三井住友建設株式会社 |
| // | 永 島 俊 之 | 坂田建設株式会社 | // | 立 川 忠 道 | 個人会員 |
| // | 大 前 和 博 | 佐藤工業株式会社 | 監 事 | 松 山 高 久 | 白岩工業株式会社 |
| // | 台 和 彦 | 大成建設株式会社 | // | 泉 裕 明 | 三井住建道路株式会社 |
| // | 臼 田 總一郎 | 東急建設株式会社 | 専 務 理 事 | 井 出 勝 也 | 東京土木施工管理技士会 |
| // | 藤 山 隆 司 | 東洋建設株式会社 | 常 務 理 事 | 糸 川 哲 雄 | 東京土木施工管理技士会 |
| // | 中 込 康 博 | 飛島建設株式会社 | | | |

(平成21年7月14日現在)

第4号議案

会則の一部変更に関する件

会則第12条の役員を選任に関する規定のうち、第3項を下線部分のとおり変更しました。

会 則 第3章 役 員

(役員を選任)

第12条 会長、副会長、理事及び監事は、総会において正会員のなかから選任する。但し、専務理事及び常務理事は、会長が理事会の承認を得て会員外から選任することができる。

2 理事及び監事は、相互に兼ねることができない。

3 第一項で選任された副会長、理事及び監事（変更前：理事、監事）の任期中に欠員が生じ、又は補充の必要が生じたときは、後任者を理事会において選任することができる。